



〈表紙写真〉

【マージン(黍)収穫】
(粟国島)



粟国島は、那覇市の北西約60kmに位置する、面積7.64 km²、人口860人、世帯数462世帯(H19.5末住基台帳)の手つかずの自然が残るどかな島です。島の名は粟の栽培が盛んだったことにもよりますが、平成元年頃からは高齢者を中心栽培期間が短く収穫もしやすいため、マージンが栽培されるようになりました。最近では、機械化が進んだことや精白施設の完成もあって、若者が栽培を手がけることも多くなってきました。

マージンなどの雑穀類は栄養価が高く、最近は若い女性を中心に見直されていて、島でも需要に追いつかないのが現状です。精白後、黄金色したマージンは大半がその時期一番のおみやげとして島外に住む親戚縁者に送られます。

沖縄の 伝統的工芸品 #2

琉球漆器



産地組合:
琉球漆器事業協同組合

伝統的工芸品とは
伝統的技術又は技法によって製造された工芸品で経済産業大臣が指定したものをおいいます。沖縄には13品目が指定されています。

URL:
<http://ogb.go.jp/move/densan/okinawaindex.htm>

群星 【むりぶし】 Muribushi CONTENTS

01	地域の目 「感動体験舞台」への誘い!	あまわり浪漫の会会長 長谷川 清博
02	地域活性化	
10	. 農林水産部 農山漁村の活性化に向けて 02	
11	. 経済産業部 「グローカル」な視点にたった多様な産業集積を目指して 04	
12	. 経済産業部 沖縄をIT開発の拠点に!「沖縄から発信するITビジネスモデル」 06	
14	. 開発建設部 地域の活力向上に資する国土交通行政の展開 08	
16	仕事の窓 総務部 沖縄振興功績者表彰	
18	仕事の窓 農林水産部 耕作放棄地ゼロを目指して	
20	仕事の窓 財務部 「注意!消費者金融をご利用の方へ」	
21	仕事の窓 開発建設部 沖縄市国道330号胡屋交差点に新しい街のシンボル登場	
16	局の動き 開発建設部 沖縄不発弾等対策協議会を開催 " 部 第3回沖縄ブロック港湾保安対策推進会議開催 " 部 平成19年度防災訓練(6月)について " 部 那覇港沈埋トンネル工事 " 部 「まるごと沖縄クリーンビーチ2007」キャンペーンを開催 運輸部 平成19年度陸運関係功労者陸運事務所長表彰 " 部 不正改造車を排除する運動の強化月間について	
20	なかゆくい *シリーズ 国有財産のはなし	
21	内閣府だより 沖縄県産酒類振興・消費拡大懇話会の報告書について かりゆしウェアの普及・促進について	
21	お知らせ	

琉球漆器は、14世紀に始まったとされる明朝との交易の献上品として発達したと考えられています。17世紀初頭には首里王府に貝摺(かいづり)奉行所という漆器の製作所が設置され、技術的・芸術的に水準の高い工芸品が作られていました。また、民間の産業としては、那覇の若狭町が漆器の生産地でした。

沖縄は年間の平均気温22.3℃、湿度78%と漆の乾燥に最適で、漆器産地としては希に見る恵まれた気象条件と、木地として狂いや亀裂が生じないデイゴ、シタマキ(エゴノキ)木目仕上げの美しいセンダン、ガジュマル等の優秀な素材に恵まれています。

主に朱色や黒の漆を用い、下地は豚の血を使った「豚血下地(とんけつしたじ)」等、上塗りは天然の漆を用いた塗り立てで、技巧的に難しい花塗(はなぬり)等で仕上げられ、朱の鮮やかな美しさと黒とのコントラストが特徴です。また模様つけの技法は「沈金(ちんきん)」、「箔絵(はくえ)」、「螺鈿(らでん)」や琉球独自の技法「堆錦(ついせん)」など多種多様となっております。

